

9月12日以降に行う登山の実施条件

学校安全課

9月12日～11月8日（第4回登山計画審査会対象期間）までの登山については、新型コロナウイルスの感染者数増加に歯止めがかからず依然として注意すべき状況であり、感染防止対策を適切に講じて臨む必要があることから、前回（8月1日～9月11日）に引き続き、以下のとおり実施に際しての条件を示す。

なお、登山を実施しようとする県立学校は、「登山計画作成のためのガイドライン(改訂版)」の遵守はもとより、本条件のもと登山計画を作成の上、県教育委員会の承認を得て実施するものとする。

1 山行地の設定について

(基本的な考え方)

山行地の設定に当たっては、テントや山小屋等の利用による密の回避をはじめ、新型コロナウイルス感染症の感染防止と、生徒が長期にわたり登山活動を行っていないことや、中には初めての登山となる生徒もいること等に十分に留意して設定する必要がある。

(設定に当たっての条件)

- ・日帰りが可能な山域とすること。

(配慮すべき事項)

- ・経験の浅い生徒に配慮し、体力面やコース選定の面において無理のない山域を設定する。
- ・時期によっては気温の高くなる場合もあるので熱中症等の防止に配慮する。

2 参加者、引率者について

(基本的な考え方)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため参加者の密を避ける観点から、少人数による行動を基本とする。引率者の適切な人数配置の確保と安全のための行動管理の徹底の観点から、全体の参加人数を制限する。

(登山実施のための条件)

- ・登山活動に参加者は、10名以内(引率者を含む)の1パーティとすること。

3 事前トレーニングの計画・内容についての条件

- ・事前の校内での活動においては必要な体力をつけた上で山行に臨めるよう計画的にトレーニングを行うこと。
- ・特に心肺機能のトレーニングを重点的に行うこと。なお、機能の回復・向上については注意して観察すること。
- ・登山経験の浅い1・2年生が中心となることから、登山についての技術や知識を十分に習得させるとともに、安全対策や山域研究等の学習を徹底すること。
- ・学校が生徒の体力等の状況を観察して山行が適切でないと判断する場合は当該生徒を山行に参加させないこと。

4 中止についての基準

- ・登山計画審査会により県教委が承認した後でも、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、山行が適切でないと県教委が判断する場合は山行を中止すること。
- ・山行当日の出発前に生徒及び引率教員の発熱や倦怠感等、体調の異常の有無の確認を行い異常が確認された場合は、当該生徒及び引率教員を山行に参加させないこと。

5 その他

- ・行動中は周囲と2 m以上の間隔を空けるようにする。運動強度が強い場合は吐く息が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。ただし、登山道のカーブなどでお互いに見えなくなるような場所では必ず後続者を目視してから先に進む。
- ・山行中のマスクの着用は原則として必要ないが、感染リスクを避けるため、会話や休憩時、混雑時や人とのすれ違い等で距離を保てない場合は着用することとする。
- ・緊急時以外、避難小屋など密となる可能性がある場所の利用はできるだけ避ける。
- ・消毒液等を携行し飲食時等の消毒を徹底する。
- ・飲み物の回し飲みや食べ物の授受・共有はしない。
- ・貸切バス等での移動にあたっては隣席を空けて座るなどし、マスクの着用、会話の自粛、車内の換気等の感染防止対策を徹底する。